



MARIANISTES

—— マリアニスト ——

188 殉教者の信仰とマリアニスト

マリア会 清水 一男

昨年、日本の教会はその歴史に大きな一歩を記しました。ご存知のように、11月24日、長崎でペトロ岐部と187殉教者の列福式が行われたことです。この式に参列した者の一人として感じたことは、今という時代にこの日本で信仰者として生きるこの意味です。

説教の中で白柳誠一枢機卿(80)は、「殉教」が「証し」であることから説き起こされ、新しく福者に挙げられた188人の殉教者たちが私たちにどんなメッセージを告げているのかをいくつかのポイントにまとめて話されました。①家族の殉教者が今回の福者の中に多かった点から、健全な家庭、一つに結ばれた家庭を見出すことが大変難しい現代日本社会への強い呼びかけがあること。②今回列福された殉教者は大部分が信徒であり、彼らは近辺の人々に好意をもたれ、尊敬されていたことから、現代の信徒や教会共同体が神の愛の目に見えるしるしとなるよう、強く呼びかけられていること。③年間3万人を超す自殺者を出し続けている日本の現状に触れ、「殉教者は叫んでいます。生きるとは、そして死ぬとは何か、人間は何のために生きるのか、人生の目的や苦しみに意味はあるのかなどの人生の根本問題を深く考えるようにと呼びかけています」、と強調されました。

私たちマリアニストにとって、「信仰」は「マリア」と共にカリスマの中心をなしており、この二つは分かち難く結びついています。マリアはお告げにおいて神の救い

の計画を示すみ言葉に対して「フィアト・なれかし」と応えられ、信じる者の生きる姿を示されました。マリアを眺めるとき、私たちは信仰に生きる人の典型、キリストの弟子の先頭を歩む人の姿を見ることができます。マリアはまさに、キリストに招かれ、キリストを信じる人々の集いである教会を象徴的に示す方です。

マリア会のコルテス総長は「マリア会の精神はマリアの精神」というタイトルでその最初の回章を発表しました。この回章は二部に分かれています。第一部は、キリスト教信仰の中心であるキリストとの一致において、マリアはどのような位置を占めるのか、がテーマとなっています。第二部は、教会のミッションとマリアニストのミッションの関係、私たちマリアニストのミッションの特徴、が詳しく説明されています。コルテス総長は、マリアニストの生き方は、「マリアが生きたようにその信仰を生き、マリアが人々をキリストへと導いたように福音を宣べ伝えること」であることを強調しています。

私たちマリアニストが現在この日本で殉教者たちの信仰を受け継いで生きることは、具体的にどのようなことでしょうか。白柳枢機卿は、神の似姿に創られた人間の尊厳性と人間固有の精神的能力の重要性、これらに反するあらゆることを避けること、特に、人間の生きる権利の尊重、戦争の持つ非人間性、人々を苦しめる貧富の拡大から来る非人間的な生活の解消、などに

⇒次ページにつづく

信仰を持って取り組むよう呼びかけられ、そして最後に、「神が、そして殉教者が私たちに呼びかけています。怖れるな！と。皆さん、怖れずに一緒に進みましょう」と私たちに励まされました。

この新しい2009年の年頭に当たり、私たちマリアニストもこの呼びかけに応じて、力強く前進してまいります。

韓国巡礼・・その2・・

レナ・チェリ 古畑久美子

その後、私達は今日の宿泊地となる大田儒城温泉へと向かいました。2日目は礪山巡礼からスタートです。この地は、白紙を濡らして顔に何枚も当てて窒息死させたという白紙死の場です。殉教者には斬首、絞首などばかりでなく、このように残酷な処刑を行ったのは、多くの人たちへの見せしめの為であったようです。長い時間苦しみもがきながら、自分の信仰を貫いた方々の叫びが、今にもこだましてきそうな、静かな山間の村でした。処刑場の地に降り注ぐ日差しが眩しく、村の静けさと、私達を案内してくださった神父様の穏やかな口調が、一層の悲しみと信仰の深さを物語っていました。礪山の聖堂を私達のために開放して下さい、この地で日本語によるミサに与ることができました。

その後、私達は全州に向かいました。もちろん昼食は全州発祥のビビンバでした。たくさんのご馳走に囲まれてみんなびっくり。ただ、一つの器にみんながスプーンを入れて食べるというのは、習慣の違いから戸惑っている方もあったようです。全州では、まず殿洞聖堂に行きました。ここでは、全州地区の信者の代表の方が暖かく迎えてくださり、熱心に説明してくださいました。殿洞聖堂は韓国の最初の殉教者が処刑された所です。ロマネスク様式の美しい聖堂で、国家記念史跡にも指定されている所です。近くの豊南門に、処刑された殉教

者がさらされたということです。石造りの非常に堅固に見える門は、今もなお、当時のことをそこを通る人々に語りかけているように思われました。

聖堂に戻ると、全州地区の司教様が別のご用で来ておられました。一緒にいらした信徒の方が、

「日本からいらした巡礼の方ですか？」と話しかけてきました。

「ハイ、そうです。今日はありがとうございました」

とお礼を言うと、

「どうですか、折角なので全州巡礼の記念に聖堂を背に司教様と一緒に記念写真を撮られたらいかがですか？ いま司教様をお願いしてあげますよ」

と話して下さいました。

「ありがとうございます。何よりの記念になります。是非お願いいたします」

と、何とか話すと、通じたのか、司教様をお連れして私達の所に戻って来て下さり、ロマネスクの美しい聖堂をバックに記念写真を撮ることができました。これも神様のお導きと感謝した。



(以下、96号に続く)

連載 マリアへの奉獻 (7)

《聖母マリアの奉獻》 (つづき5)

マリア会司祭 富来 正博

聖母マリアの信仰の旅路は御子イエスの十字架の下で頂点に達します。天使によって告げられた「その子(イエス)は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない」という言葉はついに実現しないで終わるのでしょうか。この言葉は偽りだったのでしょうか。イエスの十字架上の死はそう思わざるをえない状況でした。実際イエスの弟子たちは絶望の淵に沈んでいました。そしてユダヤ人を恐れて家に閉じこもるか、エルサレムを離れて遠くへ逃走しようとしてしました。「この方(イエス)は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。それなのに、わたしたちの祭司たちや議員たちは、死刑にするために引き渡して、十字架につけてしまったのです」(ルカ24章19節)。弟子たちにとっては起こりえないことが起こったのです。彼らはイエスを信じていました。イエスは死ぬことのないお方であり、いつかはメシアとしてユダヤの民をローマの支配から解放して、幸福な生活を約束してくださったのではないか。それなのに夢は破れ、大いなる恐怖が襲ってきた。このままではわれわれも滅んでしまう、と慌てふためいていました。実際イエスの十字架の死はそのような状況でした。

「信じた方は、なんと幸いでしょう」と祝福されたマリアは、神の民の太祖アブラハムと同じように、「希望するすべもなかったときに、なおも望みを抱いて」(ローマ4章18節)神なる父に対する娘の信頼と御子への母の慈愛を合わせもって、生涯「お言葉どおり、この身になりますように」という信仰の歩みを続けたのです。信じるとは、いかに「神の定めは悟りがたく、その道はきわめがたい」(ローマ11章33節)かを謙虚に認めつつ、生ける神の言

葉の真実に「身をゆだねる」ことです(教皇ヨハネ・パウロ二世回勅、救い主の母14)。「信じた方は、なんと幸いでしょう」という祝福が頂点に達したのは、マリアが御子の十字架のもとに立ったときでした(救い主の母18)。

マリアニスト家族 世界の動き

アリアンス マリアルの新評議会

2008年秋、アリアンス アマリアルは、フランスにおいてインターネットによる総会を開催し、以下の通り新しい総長と評議員を選出しました。

- ・ Christiane BARBAUX 総長 (フランス 59 歳)
- ・ Agathe SENOU 評議員 (コートジボワール 51 歳)
- ・ Cecilia MORAGA 評議員 (チリ 61 歳)
- ・ Marie-Laure JEAN 評議員 (フランス 52 歳)

教育部の国際会議

「汚れなきマリア修道会」の国際会議が、「マリアニストの教育」をテーマに、2009年7月16日～26日、ローマで開催されます。目的は、私達の行う教育をマリア的使徒的カリスマに立脚させ、信徒と協働するための「マリアニスト教育法」の養成プログラムの素案を作成することです。この集まりが実り豊かなものとなるよう願っています。

日韓マリアニスト家族評議会

隔年に日本と韓国と交互に会場を移して実施していますが、今年の予定は以下の通りです。

会場：韓国・ソウル

日程：2009年10月10日(土)～12日(月)

11日(日)は「世界マリアニスト家族祈りの日」に当たっていますので、韓国殉教地の巡礼をする予定です。

お知らせ

2009年

マリアニスト家族の集い

日時：2009年1月18日（日）
受付：10:00～
ミサと奉獻式：10:30～
終了予定14:30

会場：調布・晃華学園聖堂
（親睦会は中高ラウンジ）
会費：高校生以上 1500円
中学生以下 500円
当日、親睦会会場にてミニバザー開催

信徒のための黙想会

日時：2009年1月24日（土）
10:00～16:00
場所：汚れなきマリア修道会
町田祈りの家

テーマ：“私の主よ”
指導：山崎政利神父（マリア会）
費用：1500円
申込み：町田修道院 Sr. 高尾

Tel 042(722)6301

Fax 042(725)6317

奉獻生活の説明会 —修道会と在俗会—

下記のとおり説明会を開きます。
ご都合のよい時にご参加ください。
内容はいずれの会場でも同じです。
対象：、
カトリック信者の独身女性（45歳まで）

第1回：2009年2月14日（土）
14:00～16:00 町田修道院
町田市本町田3050-1
Tel 042(722)6301 Fax 042(725)6317

第2回：2009年2月15日（日）
14:00～16:00 東村山修道院
東村山市萩山町4-17-4
Tel 042(391)4952 Fax 042(395)2029

第3回：2009年2月21日（土）
10:00～12:00 調布修道院

調布市佐須町5-28-5
Tel 042(483)3525 Fax 042(480)3881

申込：開催日の一週間前までに、電話またはE-mailでご連絡ください。

汚れなきマリア修道会 調布修道院
Tel 042-483-3525（説明会担当者）
e-mail marianist1216@ezweb.ne.jp

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も会報「マリアニスト」をご愛読頂けるよう編集部員一同、努力してまいります。

昨年11月、小原前編集長の追悼ミサがご自宅で行われました。これにはご親族を初め、ヨゼフ学園の関係者、マリア会の清水地区長、マリアニスト家族の関係者、さらには地元二宮教会の方々が多数参列されました。生前各方面で活躍された小原さんの親交の広さを改めて思い起こしました。と同時に、目的に向かっての言動一致、誰に対しても上下の関係なく接するその真摯な態度は、シャミナード師が掲げたマリアニスト・ファミリーの在り方を奉獻者として実践されていた人生だったと確信しました。

小原さんは生前、「マリアニスト・100号」を一つの節目としていました。これは残された部員達に「遺言」として残っています。そして今年の11月で100号となります。

私ども部員もこの意志に沿った活動に邁進していく1年にしたいと考えて居ります。

どうぞこれからも、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。（M・I）

発行 『マリアニスト』編集部
気付 「汚れなきマリア修道会」
町田修道院 清水一男神父
〒194-0032
東京都町田市本町田3050-1
TEL 042(722)6301
FAX 042(725)6317
HP: <http://www.marianist.jp/>